ノンポイント汚染研究委員会 都市·流域部会

ホームページに関する報告

部会長 古米 弘明 (東京大学大学院工学系研究科)

名古屋年会研究集会 2008.3.19

ホームページ充実の目的

- 研究委員会メンバーや学会会員へのサービス
- 学会からの情報提供・情報発信
 - ノンポイント汚染に関する知見の紹介
 - 関連情報の蓄積と共有の場、体系立てた知見へ
 - 世間への情報発信による自己啓発、外部評価
 - 興味のある方を増やし、議論を生むツールとして

課題: 労力、コスト、継続性の確保

今回の更新内容

- ウェブサイトの暫定的な移転
- 関連資料整理(論文など)
- 集会における話題提供の一覧
- 用語集

ウェブサイトの移転

http://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/jswe-npp/

暫定的に東京大学水環境 制御研究センターのサイト の下に移転。

トップページ

過去のトピック ノンポイント汚染とは 行政の取り組み、対策事例、 関連資料、用語集、リンク



今後の展開:

研究委員会としてのWebsiteの本格運用へ http://jswe-nonpoint.com/index.htmlへ移転、管理へ

関連資料整理

- +博士論文(18報)
- +修士論文(15報)
- +総説・解説・特集(47報)
- +論文・ノート・調査報告等(47報)
- +本·出版物·報告書(6報)
- の情報を追加。

随時更新情報受付中。



今後の展開:

- •論文・ノート・調査報告等を研究内容に対応して分類
- ●恣意的でない分類法 例:対象物質で分類か?
- •情報提供者の協力が必要。

名古屋年会研究集会 2008.3.19

集会における話題提供の一覧

過去の話題提供者とトピックの一覧を公開。 (2006年から2008年まで)



今後の展開:

• 発表スライドの閲覧を、 例えばパスワード形式を用いて可能にするか?

用語集

用語集の一例を提示。 現在、7用語のみ。 英語表記もあり。

用語例:

合流式下水道、合流式下水道越流、GIS、 浸透施設、多環芳香族炭化水素類、Jンポイント汚染源、分流式下水道



名古屋年会研究集会 2008.3.19

今後の展開:

- •用語集の充実化。登録数を増やす。
- •複数研究者による内容確認。

今後の展開

- 1. Websiteの移転、ホームページ運営管理方法の確立、 Upload権限の確認
- 2. 関連資料の追加、分類の検討
- 3. 集会話題提供スライドの閲覧運用
- 4. 用語集の充実
- 5. 行政取り組み例の提示(現在、例示なし)
- 6. 対策事例の追加(現在、5事例を紹介)
- 7.リンクの追加(現在、研究グループのリンクは東京大学水環境制御研究室のみ)
- 8.情報更新の協力体制の確認。誰が何を担当するのか?

名古屋年会研究集会 2008.3.19

活動内容、今後の活動計画 関連情報紹介

- 活動内容 ホームページの充実、雨水技術情報交換会への話題提供
- 今後活動
 ホームページのさらなる充実(事例紹介など)
 都市ノンポイント汚染のWS、セミナーの開催?
 都市ノンポイント汚染に関する図書の出版?
 プロジェクトベースでの研究費の獲得?
 韓国など周辺国との交流・共同研究?
- 関連情報紹介、会議の予定、2008年8月コンケンのDIPCON会議2008年8-9月エジンバラの11ICUD会議2009年9月7-11日 8UDMの紹介

2007年度雨水技術情報交換会

日 時 平成19年7月26日(木)17:15から

場 所 東京ビッグサイト 会議棟6階

下水道研究発表会第8会場(610会議室)

話題提供

(1)「日本の雨水対策の将来展望―モデルを中心に」 元福岡大学教授 市川 新氏

(2)「雨水浸透施設の汚濁負荷削減効果に関する調査」 国土技術政策総合研究所下水道研究室研究官 田本典秀氏

(3)アナウンスメントコーナー

第10回ICUD(エジンバラ)2008年8月31日から 第8回 UDM(東京)2009年9月 その他







http://www.env.t.u-tokyo.ac.jp/8UDM

CONFERENCE TOPICS

- Data availability and reliability (data uncertainty) for UDM
- •GIS support to UDM (data resolution, emerging technologies and cost)
- Model and parameter identification and propagation of uncertainty through modelling
- Sewer structure and hydrodynamics
- Urban flooding analysis and modeling, urban flood forecasting and risk analysis
- Pollutants transport modeling (from wash-off to pollutographs dynamics)
- •RTC modeling
- UDM under extreme conditions
- Modelling of interactions and integrated systems (with urban catchment, ground water, WWTP and receiving water)
- Interaction of urban drainage system with urban aquatic habitat (hydroecology and urban amenities)
- Performance trends, indicators and life span assessment
- Socio-economic interactions and modelling tools and results for communications with and involvement of stakeholders
- Effects of climate changes trends and scenarios on the urban drainage system
- Future scenario of UD system developments
- · East Asian urban water management
- Specific issues in UDM in particular climates (humid tropic, arid, semi-arid and cold)

we encourage the participation from Asian countries

7 - 11 September, 200 Tokyo, Japan

